

阿部彩『子供の貧困 日本の不公平を考える』岩波書店 2008 年

第 4 章 追い詰められる母子世帯の子供

疑問点・論点

「現在の母子世帯対策は経済的自立ばかりに目がいきっており、子どものケアや両立支援の観点ですっぱり抜けおちている」(142 頁)と筆者は書いており、子供対策をたちあげることが必要としている。そこで、子供の貧困の撲滅と適切なケアを確保するための「両立支援」、つまり仕事と育児の両立を支援する政策はどのようなものがあるだろうか。

A…母子家庭の実態を世間に知ってもらう、会社の託児所を増やし、あるいは親の勤務時間の調整をし、子と親のコミュニケーションの充実化を図り、さらに非正規雇用の改善をする

B…

1. 収入の増加による給付額の減額を廃止
2. 公的支援を受ける対象を広げる
3. 父親からの養育費の徴収制度を設ける
4. 託児所の充実

D…

1. 1 人親家庭は所得が少ないので毎月手当を与える
2. 育児に関しては、国が週に 2、3 日早く帰宅する日を決めて、子と触れ合う時間を作るか、会社に子供を預けられる場を作る

C…

1. 子の年齢が 18 歳になるまで児童扶養手当を出し続ける
2. 非正規雇用の人の賃上げと正規雇用の枠を増やす